

公共施設を通して社会貢献を

市設建築物のファシリティマネジメントに関する業務を担当しています。具体的には、本市が所有する施設の維持管理を進めるうえで基本となる方針の策定や、職員向けに施設の維持管理に関する技術的支援を行っています。

大阪市には多くの市設建築物があります。その全てに関する維持管理の方針であるため責任は感じますが、誰もが利用する公共施設をより良くしていくことを通して社会貢献したいと思い公務員を目指した私にとって、とてもやりがいを感じます。

また、多くの職員と関わる部署なので、業務の調整などの苦労はありますが、本市の施策を幅広く勉強することができる点で視野が広がり、とても面白いです。

風通しの良い職場で、日々知識を習得

公務員という「堅い」、「前例踏襲している」というイメージがあるかもしれませんが、当課ではそのような雰囲気はありません。DX推進の流れはもちろん、業務の効率化が図れ、働きやすくなるコンテンツがあれば積極的に取り入れようとしていく雰囲気があり、それらを取り入れるスピード感もとても速いと感じます。

また、在職の長さや役職に関係なく意見を言い合える環境であり、とても風通しの良い職場です。

さらに当課は、建築職、機械職、電気職と多様な技術職員が在籍している職場なので、自分の専門以外の知識もたくさん習得することができます。そのおかげで、いろんな角度から物事を考えられるようになりました。

休暇は愛犬との外出や趣味の時間に

私の業務は、比較的自分の裁量でスケジュール管理ができるので休暇を取得しやすいですし、職場の理解も得られやすいです。私は、休日は愛犬と外出したり、趣味の野球観戦に行ったりしています！

趣味以外にも、資格の取得に時間を充てたこともあります。私は数年前に一級建築士を取得しましたが、試験対策の時間は十分に取ることができました。

そのおかげで、時間の余裕以外にも心の余裕も生まれ、試験勉強に集中することができました。



F.C.さん（平成30年度採用）

都市整備局
企画部ファシリティマネジメント課

先輩職員の声

万博ならではの建築現場を経験

万博推進局より、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に出向し、博覧会協会職員として働いています。協会では、博覧会開催に向けて、博覧会運営のための施設の整備や、工事現場内での各種調整などを行っております。

協会発注の工事では、運営に必要な事務所棟や倉庫、イベント施設などのほか、木造の大屋根リングやプロデューサーによるテーマ館、若手建築家らによる休憩所等、博覧会でないと見られない建築の整備に携われることができ、とても面白くやりがいを感じております。

また、博覧会で実施する様々な催しやイベントを実施するため、様々な関係者と調整をする場面があり、建築の整備だけでは得られない知見などを得られ、貴重な経験となっています。

共に働く民間企業の多様な視点に新鮮味

市役所で8年間勤務してから外部への出向となり、職場環境の違いを感じています。協会では、国や地方公共団体などの行政機関、公的団体のほか、民間企業からの出向者が数多く在籍しています。行政の考え方のほか、民間企業の多様な視点があり、新鮮味のある職場と感じています。

民間では積極的に使われていると思いますが、博覧会協会では、組織内の打ち合わせや関係事業者との会議などについて、オンライン会議で実施することが基本となっています。また、会議資料などについてもデータによる共有が通常であり、派遣される前の市役所での仕事との違いを感じました。

市役所においては、対面による会議や紙資料の文化が根強いところですが、市役所でも今後、DXの取り組みが進み、持続可能性のある働き方ができるとよいなと思っています。



U.A.さん（平成27年度採用）

万博推進局
(公社) 2025年日本国際博覧会協会派遣

柔軟な働き方で育児と仕事を両立

現在は、子育てにも携われるように勤務時間を9時30分～18時として、保育園の朝の送りができるようにしています。休暇は1時間単位で取得可能で、子どもの保育園迎えや急な発熱の対応の際に取得しています。また、週1のペースで在宅勤務を行い、仕事と家庭のバランスを取って働いています。



2025年日本国際博覧会について

2025年4月13日から10月13日の6か月間、此花区の夢洲で開催される国際博覧会で、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界約160か国、地域、国際機関が参加する博覧会（登録博）です。

建築基準法の知識を身につけ、成長を実感

私は、建物をつくるために必要な手続きである、建築基準法に基づく図面の審査や建築相談の対応等、建築指導行政に関わる業務を行っています！日々の窓口や打ち合わせでは、設計者や市民の方など、様々な人と接する機会の多い職場です。

建築基準法について、はじめは全く馴染みがありませんでしたが、少しずつ知識が増え、自分の力で法解釈の説明ができるようになった時に自分自身の成長を感じることができています。また、毎日新しい知識を身に付ける機会があることが楽しいと感じます。街中で自分が審査した建物が出来上がっている様子を見られることもやがいの一つです。

M. M.さん（令和3年度採用）

計画調整局
建築指導部建築確認課

エネルギッシュな職場で仲間と共に学ぶ

窓口によくの方が来られることもあり、エネルギッシュでにぎやかな職場です！それぞれの職員が積極的に意見交換をし合ったり、誰かが分からないことは一緒に考えるなど、学びを得やすく、新規採用の頃からとても働きやすい職場だと感じています。特に同世代の職員も多く、仲が良く友達に近い関係性なので、平日休日関係なくご飯を食べに行ったり、旅行に行ったり、スノーボードやバトミントンをすることもあります！

また、私が建築士の資格の勉強をしていた際は、上司や先輩職員をはじめとした周囲の職員からとても応援してもらい、休暇なども取得しやすく、十分な勉強時間を確保することができました。



夏季休暇を活用して、来年は海外旅行に！

休暇を取りやすい職場環境だと思います。審査業務は申請が多い時と少ない時で忙しさに波がありますが、自分で仕事のスケジュール管理を行えるので、無理のない範囲で働いています。私の一月あたりの残業時間は多くて15時間程度なので、家に帰ってからゆっくり過ごす時間も十分確保できています。水曜日は「ノー残業デー」と設定されており、残業をしないことが徹底されているので、この日に職場の人と食事に行くことが多いです！また、1時間単位で有給休暇を取得できるので、少し早く帰らないといけない日や、急遽病院に行きたい時などに、効率的に休暇を活用できます。

毎年付与される夏季休暇を活用して、来年は海外旅行に行こうと考えています！



転職して公務員に、防災の重要性を実感

民間企業から転職し、住宅の耐震化や、防災の業務を担当している部署に所属しています。

私の主な担当業務は「被災建築物応急危険度判定活動」に関する業務です。ご存じでしょうか？地震が起きた時に、建物の危険性を調査する活動です。調査に必要な資機材が何か、調査をどの様に進めていくか、他の自治体とどのように連携していくかなど、考えることはたくさんあり、民間時代には知りませんでした。少しでも震災の被害を減らすために、とても大切な業務だと感じています。

また、Xで耐震の情報を発信する「たいしんくん」のアカウント運営も担当しています。自由にできるわけではありませんが、意外とクリエイティブな仕事です。

自己成長感がモチベーションに

職場環境は、ハード面では、民間時代と比べると快適とは言えません。入庁前の印象どおりですが、節約が徹底されているため、空調や備品の購入も制限が厳しいです。今は慣れましたが、昼休みに照明を落とされるのは衝撃でした。

ソフト面では、入庁前は、「楽な仕事」、「事なかれ主義」という印象をもって入庁しましたが、まじめで優秀な人が多く、仕事の出来不出来には厳しい職場だと感じました。ついていくのは大変ですが、その分成長が感じられることがモチベーションになっています。

良くも悪くも組織が大きいため、交流を広げれば気の合う人にたくさん出会えます。職場環境をよくできるかは自分次第です。

F.T.さん（令和4年度採用）

都市整備局
市街地整備部住環境整備課

休暇を活用してプライベートも充実

所属する部署の仕事量などによるので、一概には言えませんが、個人的には、休暇は比較的取りやすいと思いますし、残業もあまりせずプライベートを充実できています。1週間休みを取って海外に行かれる方も周りにはいらっしゃいます。

1時間単位で休みを取ることができるのですが、これがとても便利で、歯医者予約が取りやすいです！



公共施設完成時の達成感にやりがい

公共建築課は、区役所やスポーツ施設、学校等の市設建築物にかかる企画や設計、工事を行っている部署です。その中で私は企画業務を担当しています。具体的には施設を維持管理している部署からの相談に対応し、設計・工事の実施に向けた条件整理を行ったうえで、建物の構造や配置、必要な機能の検討などを行っています。

設計・工事を進めていくためには、各案件ごとに解決すべき課題があり、頭を悩ませることが度々あります。しかし、施設を維持管理している部署や実施設計担当・工事担当等と調整を行い、業務全体の計画を立てることで様々な施設の整備を進めていくことは、とても面白く、建物が完成した際の達成感・充実感にやりがいを感じています。

現場見学会などの研修参加でスキルアップ

担当業務以外でも、工事中や完成した建物の見学会などの研修が実施されています。業務時間を調整しながらの研修参加になりますが、職場の理解も得やすいので、目的意識をもって主体的に参加することでスキルアップにつなげる時間が確保できます。

勤務時間については、工事発注や工事完成などの繁忙期には残業がありますが、毎週水曜日は定時退庁日に設定されており、メリハリをつけて業務に取り組むことができます。



育児休業を取得、復帰後も周囲からサポート

子どもが生まれる際には、女性だけではなく男性も育児に積極的に関わることが推奨されています。私は一ヶ月間育児休業を取得し、生まれたばかりの赤ちゃんのお世話に主体的に関わることができました。職場復帰後も、上司や同僚のサポートのおかげもあり、子育てと仕事を両立させながら家族の時間を大切にすることができています。

その他、テレワークや時短勤務、時差勤務、各種休暇などがあり、ワークライフバランスを取りやすい環境だと思います。



Y.Y.さん（令和2年度採用）

都市整備局
企画部公共建築課



建築技術で施設の維持管理に貢献

経済戦略局では、スポーツ施設や国際見本市会場等を所管しており、施設整備課では局所管施設の長寿命化を図るために改修工事の計画を検討したり、施設の維持管理を行っています。また事務職員が多い職場となるため、技術的サポートも行っています。

私の業務は事務職員と連携して進める必要があるため、専門的な内容を理解していただけるように、図面だけでなく写真を使って説明したり、実際に現地に行って説明するなど工夫しています。改修工事の計画を進めるにあたり、様々な部署と調整が必要となるため、必要に応じて打合せの場を設定しスムーズに業務を進めることに努めています。

M.A.さん（令和5年度採用）

経済戦略局
企画総務部施設整備課

様々な部署で建築職が活躍中

疑問点や困ったことがあれば周りの上司や先輩が相談に乗ってくださるので、困ったときにも積極的に仕事に取り組むことができています。

また、時には担当を超えて相談しあうこともあり、様々な視点で日々成長することができています。

実際に働いてみて驚いたことは、建築の技術職員が様々な部署に配属されていることです。技術職員が多い部署もありますが、私が所属している経済戦略局のように事務職員の方が多く職場もあります。それぞれの部署によって業務内容が異なるため、想像していた以上に多くの経験を積むことができると感じました。

計画的に休暇を取得、自分時間も大切に

私の業務は自分でスケジュールを立てて進めることができるので、やることリストを作成し優先順位を確認して業務に取り組んでいます。そのため、計画的に休暇を取得することができ、仕事とプライベートを両立することができています。

現地での打合せや立会が多く、夏場は体力的に厳しいこともありますが、時間休を取得しやすく、かつ残業時間が比較的少ない部署のため、しっかり休息をとって体力を回復させたり、帰宅後の時間を自分時間にあてたりすることができています。



先輩職員の声

学校での子どもたちの元気な姿にやりがい

学校施設の維持保全業務を担当しています。主な業務内容として、各学校に必要な改修工事を判断し、計画をします。工事は長寿命化工事という大規模なりフォーム工事のようなものから、雨漏れの補修のような部分的な補修まで多岐にわたります。

工事が終わった後の学校で子どもたちが元気に活動している姿を目にした時、学校で働く先生方に感謝されたときにやりがいを感じます。

工事の計画から完了まで様々な人と関わることになるため、その人たちと良好な関係を築く必要があります。大変だと感じることもありますが、大規模な現場から小規模な現場まで実際に立ち会うことができ、多様な施工方法などを業者さんから直接話を伺い、学ぶことができ、スキルアップにつながっていると感じています。

<一日のスケジュール>

9:00	12:15	13:00	14:00	17:30
出勤	学校からの連絡対応 工事に関する連絡対応	昼休憩	資料準備	現場出張 (現場確認・学校での打合せ)
				退勤

上司や先輩に気軽に相談

職場では、各々がメリハリをつけて効率的に仕事を進めているという雰囲気があります。上司や先輩は接しやすい人が多く、相談もしやすい環境です。

また、残業はあまりなく、基本は定時で帰ることができます。



N.Y.さん (令和5年度採用)

教育委員会事務局
総務部施設整備課

自分らしく働ける職場、資格取得の支援も

比較的個人で動く業務が多いため、自らのスケジュールに合わせて業務を調整しやすいと感じます。

忘年会等の職場の交友は、必要最低限の開催かつ任意参加であり、そのような配慮が十分にある環境です。

また、1級建築士資格取得のための現場見学会の開催など、資格取得に向けた支援を受けることができます。



魅力ある住まいづくりに向け、日々勉強

賃貸住宅の所有者が、子育て・新婚世帯に配慮したリフォームを行う際に費用の一部を補助する制度と、「大阪市ハウジングデザイン賞」という市内の集合住宅を表彰する制度に関する業務を担当しています。

リフォームの補助申請の事前相談や手続きでは、補助金を利用される方と打ち合わせをしたり、図面や建築設備の仕様を見て補助要件を確認するなど、建築の知識が増えていくことを実感しています。

また、ハウジングデザイン賞では、推薦住宅の整理や専門家による選考会議開催のほか、表彰候補住宅に直接足を運び、建築物に触れることで、経験が増えていくことを実感しています。

まだまだ、学ぶことが多くありますが、やりがいを感じています。

先輩や上司からのサポートを得て成長

配属先の職場（10名）は、男女の割合が半々で、建築職だけでなく事務職の職員や、子育て中の職員もたくさん勤務しており、どの年代の職員にとっても働きやすく、誰に対しても話しかけやすい環境だと思います。

当初は、仕事の進め方や社会人としてのビジネスマナーなど、わからないことがたくさんありましたが、自分で調べたり、先輩職員や上司（課長や係長）から色々教えてもらったり、日々の仕事を通じて少しずつ成長することができたと思います。

また、都市整備局には、建築職の同期入庁者がたくさんおり、昼食時に情報交換したり、退庁後や休日に会う機会も多くあります。



T.H.さん（令和6年度採用）

都市整備局
企画部住宅政策課

休日は趣味や旅行で自分時間を満喫

忙しい時期には残業をすることもあります。夏季休暇や有給休暇（全日休）は取得しやすい環境だと思います。

特に1時間単位でも有給休暇を取得できるため、朝に用事を済ませてから出勤することや、数時間だけ早く退勤することも可能で、ワークライフバランスに応じて取得している職員は多いです。

また、旅行日程に合わせて仕事を調整することで、長期の旅行に行くことも可能で、実際に私も夏季休暇で同期と3泊4日の海外旅行（タイ）に行くことができました。

退勤後や休日には、趣味（野球、バスケ、サウナ巡り等）に充てる時間も確保でき、仕事もプライベートも充実しています。



工事現場の想定外の出来事に日々奮闘

市営住宅の建替工事やエレベーター設置工事、耐震改修工事の基本計画や設計、工事監理を行っている部署です。その中でも私は、工事監理を担当しています。主な業務は、工事現場での工程会議や検査、工事を進めていくうえで必要な関係部局・機関への調整で、デスクワークのみではなく、工事現場などでの外務も多くあります。

工事期間中は様々な想定外のことが起こり日々奮闘しておりますが、実際に建物が完成し、入居される方から喜びの声をいただいた時は、頑張ってたかったとやりがいを感じます。

<一日のスケジュール>

9:00	12:15	13:00	15:00	17:30	
出勤	現場出張 (工事監理)	昼休憩	打合せ	デスクワーク メールチェック	退勤

職場のサポートを受け、現場で経験を積む

前職では内装改修工事を主に担当していたので、配属当初は工事規模の大きさに驚きの連続でした。何もわからない中でしたが、同僚や上司の方からサポートしていただき、経験をつみながら業務を進めることができました。

また、工事現場での業務も多くあるため、実際の作業や進め方など見ながら学ぶことができる環境だと思います。建物がゼロから出来上がっていく様子を見られるのは工事グループならではの経験です。



I.K.さん (令和3年度採用)

都市整備局
住宅部建設課

同期との交流や旅行でリフレッシュ

時期にもよりますが、定時に帰ることが多いです。

また時間休という制度があり、1時間単位でお休みも取れるので、役所や通院など平日に行かなければいけない用事にも対応しやすいです。

都市整備局だけでも同期が30人と多くいるので業務中に助け合ったり、業務後ご飯に行ったりと賑やかに過ごしています。

また旅行が好きなので、大型連休の前後に休みを取って、海外旅行にも行っています。

